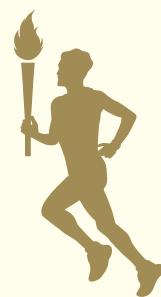


沼田を照らす 希望の輪



1



2



3

1. 第1走者の木幡君(写真左)が希望の炎をつなぐ 2. 軽快な走りで沿道の市民に笑顔を送る 3. 市内では唯一の団体ランナーがリレーを盛り上げる

県内で巡回される東京2020オリンピック聖火リレー2日目となる本市では、17人が約2・4キロを走り切りました。晴天に恵まれ、ピンク色の桜で染まった沼田公園で開かれた出発式では、聖火の火をトーチに移すと、会場から大きな拍手が送られました。本市を拠点に和太鼓の活動をしている「手久野太鼓」の演出やサポーターランナーらが開催を祝い、第一走者となる木幡悠紀君を送り出しました。

それぞれのランナーは、沿道に集まった市民に笑顔で応じながら走り、トーチキスポイントでは思い思いのポーズを取りながら次のランナーに聖火を引き継ぎました。軽快な音楽とともに色鮮やかに装飾されたサポーター車両の演出もリレーを盛り上げました。

最終ランナーは、市民や沼田中学校吹奏楽部らが待つ市民体育館へ聖火を運び、次の経由地の川場村へつなぎました。

問合せ 企画政策課政策推進係 宮内線4034

ダンスで盛り上げるスポンサー車



手久野太鼓の力強いバチさばき



手を振り聖火を笑顔で迎える



4